

資料4

地方版図柄入りナンバープレートの 次回導入のあり方について

地方創生2.0の推進

(地方イノベーション創生構想)

第三の柱は、「地方イノベーション創生構想」です。
(中略)

新たな重点として、官民連携により文化芸術・スポーツの振興を図ります。その効果的な広報等により地方創生に繋(つな)がる観光産業の活性化を進めます。



第217回国会における石破内閣
総理大臣施政方針演説
(令和7年1月24日閣議決定)

ご当地ナンバー (地方版図柄入りナンバー)の制度の意義

地方版図柄入りナンバープレートは、
”走る広告塔”として、地域の風景や観光資源を図柄とすることにより、地域の魅力を全国に発信することを目的とした制度

既に第4弾まで導入しており、全73種類の図柄が導入されている。

<観光資源等をモチーフとした図柄の例>



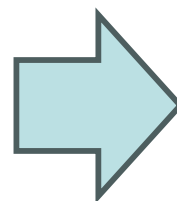
石破内閣総理大臣の施政方針演説では、「地方創生2.0」を推進することとされており、その中で「その効果的な広報等により地方創生に繋(つな)がる観光産業の活性化を進めます。」とされている。まさに、”走る広告塔”として 地域の風景や観光資源の図柄を用い、地域の魅力を全国に発信する地方版図柄入りナンバープレートは、観光産業の活性化等につながる施策であり、その更なる活用が求められているところ。

ご当地ナンバー対象地域の構成地方公共団体	当該地域での登録自動車の保有台数	当該地域での登録自動車と軽自動車の合計保有台数
単独市区町村	10万台以上	17万台以上
複数市区町村	地域の総台数が概ね5万台以上	地域の総台数が概ね8.5万台以上

年度別・月別等の最新の保有台数

(参考) 個別ナンバープレートを有する運輸支局等における登録台数の少ない順

平成16年3月末現在	
支局名等	登録台数
飛騨	7.7万台
庄内	13.5万台
佐世保	14.3万台
北見	18.6万台
筑豊	20.2万台
釧路	20.3万台



約20年間で
約1～2割減少

令和6年3月末現在	
支局名等	登録台数
飛騨	6.4万台
庄内	12.0万台
佐世保	12.8万台
北見	16.1万台
筑豊	18.2万台
釧路	17.6万台

自動車保有台数別の自治体数と内訳

＜登録自動車＞

現行基準
10万台

自動車保有台数	15万台以上	10万台以上 15万台未満	9万台以上 10万台未満	8万台以上 9万台未満	7万台以上 8万台未満	6万台以上 7万台未満	5万台以上 6万台未満
自治体名が運輸支局等の 地域名表示と異なり かつ ご当地ナンバー未導入の 自治体	3	12	5	9	15	15	36
累計	3	15	20	29	44	59	95

＜登録自動車＋軽自動車＞

現行基準
17万台

自動車保有台数	20万台以上	17万台以上 20万台未満	15万台以上 17万台未満	13万台以上 15万台未満	12万台以上 13万台未満	11万台以上 12万台未満	10万台以上 11万台未満	9万台以上 10万台未満
自治体名が運輸支局等の 地域名表示と異なり かつ ご当地ナンバー未導入の 自治体	5	7	6	15	8	10	11	9
累計	5	12	18	33	41	51	62	71

令和7年5月7日現在

- ・全138地域のうち、78地域に図柄導入済。
- ・全138地域のうち、51地域がご当地ナンバー。
- ・ご当地ナンバーのうち単独市区は21。

地方版図柄入りナンバープレートの導入スケジュール(想定)

